



(1) 登録有形文化財

キャンパスのシンボルである本館やステンドグラスが美しいチャペル・講堂など建築家アントニン・レーモンドが設計した全7棟が1998年、文化庁の登録有形文化財とされた。

(2) 1学部6学科への再編

2025年度から現代教養学部をそれまでの5学科から人文学科、国際社会学科、経済経営学科、心理学科、社会コミュニケーション学科、情報数理科学科の6学科に再編した。学科再編では、女性の一層の活躍が望まれる経営分野を充実させた経済経営学科、公認心理師資格に対応した心理学科などを新設。併せて25年度から卒業に必要な124単位のうち、他学科科目10単位が必修となった。

(3) 全学共通カリキュラムの改革

1年間の学部留学を必須とする「Global Citizenship Program」、正解のない問いをテーマとする「知のかけはし科目」、フルオンデマンドでAI・データサイエンスを学ぶ「早稲田大学連携科目」など、全学共通カリキュラムの改革も積極的に行っています。

(4) 知のかけはし科目

異なる専門分野の教員2人が一つの科目を担当し、対話を取り入れながら授業を行う。「人文社会横断型」26科目、「自然科学包含型」9科目の全35科目が開設される。自然科学包含型1科目を含む4科目が必修で、そのうち1科目は3年次以上で履修することを条件とするなど、4年間を通して学びを深める。

(5) 問いプロジェクト-TONJO QUESTION-

学生にとって身近な疑問や社会課題など、現代教養学部全体と2025年度に再編された6学科からそれぞれ容易に答えの出ない「問い」を投げかけ、受験生をはじめ多くの人に東京女子大学の「リベラルアーツ」の学びを知ってもらう取り組み。



(6) 知のかけはし入試

2017年度入試から導入された総合型選抜。出願書類、英語資格・検定試験の成績、講義の要旨、小論文、グループディスカッション、面接などによって評価する。23年5月に文部科学省がまとめた「22年度大学入学者選抜における好事例集」に取り上げられた。

東京女子大学の学科ラインナップ

—2025 年度からの学科編成—

現代教養学部	
学科	学びの柱 (主な学問領域)
人文学科	
●哲学専攻	哲学、倫理学、美学、キリスト教学
●日本文学文化専攻 名称変更	日本語学、日本古典文学と文化、日本近現代文学と文化、比較文化
●英語圏文化専攻 新設	英語圏文学文化、英語学、英語教育学
●歴史文化専攻	日本の歴史と文化、アジアの歴史と文化、西洋の歴史と文化
国際社会学科 再編	
└ 国際関係コース	国際政治と各国の外交、国際法、国際協力
└ 地域文化コース	文化人類学、多文化理解、ジェンダーと人権
経済経営学科 新設	
└ 経済学コース	ミクロ及びマクロ経済学、公共経済学、統計学、経済社会と女性
└ 経営学コース	公共政策、マネジメント、マーケティング、資源管理、会計・財政
└ 地域デザインコース	まちづくり、環境、観光、ジェンダーとコミュニティ、持続可能な社会づくり
心理学科 新設	
└ 心理科学コース	認知心理学、社会心理学
└ 発達臨床コース	発達心理学、臨床心理学
社会コミュニケーション学科 新設	
└ 社会学コース	社会学、社会調査、行動科学、価値意識、ウェルビーイング、分断・差別
└ メディア情報コース	メディア、ジャーナリズム、情報デザイン、SNS 研究、ユーザ行動
└ 共生社会コース	多様性理解、共生社会と人間行動、少子高齢社会、ダイバーシティ
情報数理科学科 名称変更	
●情報数理科学専攻	情報科学、AI・データサイエンス、数理科学

分野の知識が必要なのか、それを見極める力をもつことが大切です。東京女子大学では、このような力を養う分野横断的な学びが具体的な形に なっています」

2024年度から引き続き、「全学共通カリキュラム^⑥」の改革も 行っています。

知のかけはし科目が見せたリベラルアーツ教育の神髄

リベラルアーツ教育を建学の精神として掲げながら、戦後の画一化、序列化された日本の大学システムの 中で、東京女子大学自身がその意義を見失いかけていた、と森本学長は



もりもと 森本あんり学長

1979年国際基督教大学人文科学科卒業。82年東京神学大学大学院組織神学修士課程修了。91年プリンストン神学大学院博士課程修了。専門は神学・宗教学・アメリカ研究。国際基督教大学教授、同大学学務副学長などを経て2022年より東京女子大学学長。『反知性主義 アメリカが生んだ「熱病」の正体』など著書多数。

東京女子大学は1918（大正7）年の創立時から「リベラルアーツ教育」を掲げ、良妻賢母思想や国家の役に立つ実用主義とは一線を画した自分の知性で判断し、行動する女性の育成を使命としてきました。初代学長新渡戸稲造が残した「知識よりも見識、学問よりも人格、人材よりも人物」という言葉は、これまでの常識や世界観が一から問い直されている今こそ光を放っています。

東京女子大学は2025年度、森本あんり学長のもと、リベラルアーツ教育のさらなる進化を目指し、「1学部6学科」の新体制がスタート。全学共通カリキュラムの改革も積極的に行っています。女性が伸び伸びと自己表現し、リーダーシップを養うことができる新しい女子大学の挑戦が続きます。

東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1 広報課 TEL 03-5382-6476 <https://www.twcu.ac.jp/>

新しい「1学部6学科」体制を土台に 女性のリーダーシップを開花させる リベラルアーツ教育のさらなる進化

キャンパスのシンボルに ラテン語で刻まれた「真実」

東京女子大学を初めて訪れる人は誰もが正門の奥に広がる光景に息をのむことでしょう。芝生の緑と、それを見下ろす白亜の本館が織りなすコントラストの美には、長い時間だけが作り出せる落ち着きがあります。1931（昭和6）年に建てられ、98年に登録有形文化財^⑦となった本館正面の壁に「QUAECUNQUE SUNT VERA」の文字が刻まれています。新約聖書の一節で「すべて真実なこと」という意味のラテン語です。かつてキリスト教世界の国際共通語だった言語があらわれていることに、中世ヨーロッパで自由な知識人の共同体として生まれ、自由学芸（リベラルアーツ）を重んじた「大学」の成り立ちとの響き合いを感じさせます。

「開学当時の日本にはリベラルアーツという言葉はなかったのですが、特定の仕事に就くためではなく、どんな仕事に対しても発揮できる能力を養うとうたっている。リベラル

アーツそのものの考え方です。新渡戸稲造、安井てつ（初代学監）と並ぶ創立者の一人、A・K・ライシャワー（ライシャワー元駐日米国大使の父）は「東京女子大学はリベラルアーツ・カレッジだ」と言っています」

森本あんり学長はそう話します。リベラルアーツはもっぱら「一般教養」とか「基礎学問」などと訳されますが、日本語で明確に定義するのは困難です。「リベラルアーツという特定の科目があるわけではありませ ん。リベラルアーツとはホワット（What）ではなく、ハウ（How）なのです。哲学や歴史、あるいは物理学でも経済学でも何でも、それは材料です。材料をどう扱うのがリベラルアーツです。雑学と言われることもありますが、違います。インテグレート（統合）の力、バラバラな知識を自分の専門と結びつけて考えられる力なので、ただの物知りとは異なります。卒業した後も自ら学び続ける習慣が体に植え付けられる、それがリベラルアーツ教育の目的です」と森本学長は説明します。

新学科体制がスタート 分野横断的学びを実現

では、東京女子大学のリベラルアーツ教育とはどのようなものなのでしょう。東京女子大学は2025年度、リベラルアーツのさらなる進化をうたい、「教育改革第2弾」として現行の1学部5学科を6学科に再編しました。

伝える試みが24年6月に始めた「問いプロジェクト^⑧」です。「子どもが成長していく過程で嘘をつくようになるのはなぜか」といった七つの質問が新聞広告などを通じて投げかけられました。容易に答えが一つに定まらない問いに向き合い、リベラルアーツを体感してもらおうというユニークな企画です。

高校生へのメッセージといえば、総合型選抜「知のかけはし入試^⑨」もその一つといえます。26年度入試（26年4月入学）から募集人員を60人に増やしました。「大学に来て授業を受け、ノートを提出して小論文を書き、ディスカッションをして面接を受ける。丸一日かけて受験生を見ようというテストで、とても手間暇がかかりますが、そういうチャレンジを経て入学した学生は伸びる。もっと多くの高校生の皆さんにチャレンジしてもらいたい」（森本学長）

1世紀の長きにわたり継承 男女平等へ「女子大」の使命

日本は25年、ジェンダーギャップ 指数の順位は前年と同じく118位と世界標準への道のりは険しい。日本が少しでも早く男女平等な社会に近づくために女子大学の存在意義はあると森本学長は力説します。

「リーダーシップが取れる女性を増やさなければならぬのです。国会議員の半数が女性になったら、東京女子大学は女子大であることを再考するでしょう。それまでは女子大学としての存在意義を発揮し続けなければなりません」

100年にわたり受け継がれてきた「自立した女性を育てたい」という情熱に共鳴する高校生に向けて森本学長はこんな言葉を送ります。

「大学には、高校までには予想もしていなかった学問の世界が広がっています。全く未知の世界に招かれていると思うって下さい。できれば進路を決めずに大学に来てほしい。決めてもいいですが、全く関係のない勉強に触れて進路が変わってもいい。そういう『揺らぎ』を許すのが大学なのです。卒業して何になるかなど今の時代、分かりません。だからリベラルアーツの学校に入ってほしい。自由を手に入れてほしいと思います」

